

社会福祉法人 睦月会
理事長 綿 祐二
LifeDesign つむぎ
管理者 西勝 勇

日中支援型グループホーム「Life Design つむぎ」の報告について

下記のとおり日中サービス支援型共同生活援助「LifeDesign つむぎ」令和5年度の事業
に関して報告をいたします。（数値は令和6年2月29現在）

基準法令

「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉
サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準」（平成18年9月29日厚生労働
省令第171号）

基準省令第213条の3（基本方針）

日中サービス支援型指定共同生活援助の事業は、常時の支援体制を確保することにより、
利用者が地域において、家庭的な環境及び地域住民との交流の下で自立した日常生活又は
社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれて
いる環境に応じて共同生活住居において相談、入浴、排せつ又は食事の介護その他の日常生
活上の援助を適切かつ効果的に行うものでなければならない。

基準省令第213条の10（協議の場の設置等）

日中サービス支援型指定共同生活援助事業者は、日中サービス支援型指定共同生活援助
の提供に当たっては 法第89条の3第1項に規定する協議会その他都道府県知事がこ
れに準ずるものとして特に認めるもの（以下「協議会等」という。）に対して定期的に日中
サービス支援型指定共同生活援助の事業の実施状況等を報告し、協議会等による評価を受
けるとともに、協議会等から必要な要望、助言等を聴く機会を設けなければならない。

社会福祉法人睦月会 日中サービス支援型共同生活援助

LifeDesign つむぎ 令和 5 年度事業報告

1. 事業所概要

運営 社会福祉法人 睦月会
代表者 理事長 綿 祐二
法人所在地 東京都国立市泉三丁目 3 0 番地の 5
事業所名 LifeDesign つむぎ
事業所所在地 武蔵野市桜堤 1-9-6
管理者 西勝 勇
サービス管理責任者 西勝 勇
統括施設長 小林明美
指定年月日 令和 2 年 3 月 1 日
事業種別 日中サービス支援型 共同生活援助、短期入所

(1) 日中サービス支援型 共同生活援助 (GH)

①利用者

定員 18 名 現員 17 名 (男性 8 人、女性 9 人) 2024.2 時点
身体障害者 9 人 (重複含む)、知的障害者 17 人

・ 障害程度区分 (単位：人)

区分	3	4	5	6	合計	平均
男性		1	2	5	8	5.5
女性		1	1	7	9	5.6
合計	0	2	3	12	17	5.5

・ 年齢 (単位：人)

年齢	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70～	合計
男性		5	2		1			8
女性		5	3		1			9
合計	0	10	5	0	2	0	0	17

平均年齢 30.4 歳

・GH 利用者特記

医療的ケアのある方 3 名（浣腸 3 名、導尿 2 名、自閉傾向 行動障害の方 3 名）

・GH 利用者の推移

（単位：人）

	令和 3 年度	令和 4 年度 (4/1～2/28)	令和 5 年度 (4/1～2/29)
現員	18	18	17
利用延べ人数	3,553	4,524	4,159

1 日平均 14 人（令和 5 年度（4/1～2/29）実績）

②利用者の援護元自治体

武蔵野市 5 人、西東京市 4 人、三鷹市 3 人世田谷区 2 人
杉並区 2 人、調布市 1 人 計 17 名

③グループホーム入居の基準

- ・対象者は知的障害者、身体障害者。
- ・グループホームでの集団生活ができる方。
- ・利用料を払える方。
- ・入居の空きがでた場合は法人の基準で審査とする。

④バックアップ体制

- ・バックアップ施設 LifeDesign らふ、LifeDesign ゆにぞん
- ・職員体制 管理者・サービス管理責任者 1 名、世話人 9 人（常勤換算 7 人）、生活支援員 16 人（常勤換算 7.7 人）看護師 2 人（常勤換算 0.3）

（２） 短期入所

① 利用者 定員 2 名 登録者 29 名（2024 年 2 月 29 日時点）

・短期入所利用者の推移

（単位：人）

	令和 3 年度	令和 4 年度 4/1～2/28	令和 5 年度 4/1～2/29
登録者	0	8	29
利用のべ人数	0	48	278

- ・短期入所利用者特記

令和5年度は、登録者も飛躍的に伸び問い合わせが週に1~2件は来ている。

登録をしていただき、ご利用に繋がっている。

レスパイト、支援者の入院、冠婚葬祭、本人の自立に向けての体験等

2. 日中の過ごし方等利用者に対してどのような支援を行っているか

- ・利用者さんの選択により、現在は、通所施設を希望され、生活介護事業所や就労継続B型事業所等へ通所している。
- ・体調が悪いときはつむぎで過ごしていただいた。入院加療し、体調が戻るまでしばらくつむぎで日中を過ごして体調が戻ってから通所に行かれた方が2名いた。
誤嚥性肺炎。SPO2低下等。2週間~3週間の入院加療を行った。
- ・余命宣告を受けた利用者さんのケアを行っている。関係者会議（相談事業所、つむぎ、通所先、家族、援護の行政担当、訪問医、訪問看護）を開催している。体調は現在安定しているためつむぎと通所で日常を過ごし定期的な訪問医による診察と訪問看護で日常の健康状態を報告しアドバイスをもらいながら支援した。夜間の突発的な発熱なども24時間の対応をしてもらっている。定期的なご家族の訪問で現在は、本人の楽しみとなり穏やかに過ごされている。
- ・食事、排泄、入浴その他日常生活全般の支援と体調不良やケガなどでは通院などの対応をした。
- ・今年度も新型コロナウイルスやインフルエンザに感染し発熱者が出た。感染が原因で肺炎になった方がいて救急搬送をした。
- ・土日は自宅に帰られる方もいるが、つむぎで過ごされる方もいる。ガイドヘルパーと出かけたり職員と近隣の買い物や散歩に出かけたりした。地域の福祉の行事に利用者さんと参加して地域との交流に努めた。

3. 地域や家族との交流

2023年11月秋に地域の福祉施設らが合同で実施した祭りに当日利用者と職員で参加し、スタンプラリーなどで楽しんだ。

また、施設内では新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら夏祭り、ハロウィンパーティ、クリスマス会などの行事を行った。

4. 医療機関とはどのような連携体制をとっているか。

(医療機関との連携、医師や看護師の訪問の有無、日々の健康チェック方法等)

協力医療機関に発熱時の通院やご助言をいただいた。

健康管理については毎日朝夕の検温、食事量の把握、水分量の把握、排泄の管理（排便管理等）、睡眠時間の把握、薬の与薬、皮膚への軟膏処置などは日常的に行い、これらに関する情報を健康把握表にてまとめ、日常的に把握している。表はサービス提供記録と共にご家族へ 1 週間ごとに提出している。急な発熱などは、ご家族と連絡を取り合い都度対応してきた。長期的な問題点などはご家族と相談し定期通院時に家族が医師に相談しその内容をグループホームにフィードバックしていただいていた。

グループホームの看護師と訪問看護ステーションの看護師による連携で医療的ケア 3 名の導尿・浣腸と腹部観察を実施した。都度体調に関する情報交換をしながら支援スタッフと協力して対応した。

- ・個人契約の訪問リハビリテーションを行っている。
- ・医療的ケア実施者に対しては、つむぎと訪問看護ステーションゆかりで利用者の契約で医療的ケアを行っている。
- ・緊急時には、管理者、バックアップ施設の協力を得て睦月会の看護師が対応をした。
- ・訪問医（個人契約）による診察してもらい、スタッフへのアドバイスをもらった。

5. グループホームはこんな場所です

Life Design つむぎでは

ひとり一人の状態像に合わせてカスタマイズされています。

- ① 利用者の状態像に合わせて生活空間を造っている。（クッション床、上がり床）
- ② 障害の重さによる障壁のない、どんな方でも入居可能なグループホームです。
(機械浴室などを作り重度の身体障害者でも対応できる。)
- ③ 各ユニットで特徴の違う利用者がそれぞれに分かれて生活していただける様に配慮しています。(2 階:車いすご利用者様中心、3 階:知的障害ご利用者様中心)
- ④ 入居者の状態像に合わせた設備を考え、希望に応じて居室をカスタマイズしています。(壁紙、お風呂、防音壁、夜間保安用 室内カメラ等)

以上